

事例集「『生きる』をささえる ～福祉医療施設ソーシャルワーカーの挑戦～」 を発行しました

ソーシャルワーカー会 会長 松尾ゆかり

(横浜勤労者福祉協会 まちづくり部うしおだまちづくり委員会 事務局長)

ソーシャルワーカー会では、事例集編集委員会を設置し1年半をかけて事例集を発行しました。ソーシャルワーカーたちからの提出事例を委員が提出者とともに推敲しながら委員会で何度も話し合いを重ね作り上げたものです。

この事例集の発行目的は大きくは2つあります。一つは、ソーシャルワーカー自身のスキルアップにつながりエンパワメントされること、もう一つは、院内の他職種及び関係機関のみなさんに無料低額診療事業の意義とソーシャルワーカーの専門性をアピールすることです。

ソーシャルワーカーたちは、地域事情や患者特性に関係なく決められた制度に剛り、入退院調整に追われ疲弊しています。時には、パターン化したシステムに乗せるだけで精いっぱい現実も生まれます。でも、私たちの病院は福祉医療を行う医療機関なのです。無料低額診療事業は、どんな

方にも医療を提供し命の平等を守るためにあります。医療費に困るということは、背景に多くの生活課題や困難を抱えているわけで、必然的にそういった患者さんたちが医療協加盟の病院・診療所を受診されます。ソーシャルワーカーは、そんな患者さんたちに寄り添い、彼らの意思を尊重し課題解決への支援を行っているのです。ここに登場した30人の患者さんたちの人生に思いを馳せながら、ソーシャルワーカーの思いに触れていただければ幸いです。

